

日光 ふるさとまつり

テーマ 出会い ふれあい ふるさと再発見

平成十八年度は第二十七回のまつりを雪の舞う三月十日～三月十一日に開催いたしました。

「ふるさとまつり」は、日光地区の大きな行事として、住民の皆さんのふれあいの場となっております。地域の方々の皆さんのお一人お一人が、何かの形で盛り上げようという気持ちで携わっていただいている。それが日光らしさの暖かいふるさとまつりとなっています。会場は作品展示、地域の方の写真、油彩展が恒例となっています。日光女性会のリサイクル、各種団体の皆さんによる地域の特産品が並び、会話も弾みます。作品展示会場は、各集落の老人会、女性会の皆さんの手



作りの作品、小学校児童、保育園児の作品、これらの作品が会話にとつながりました。今年も元気で参加できてよかった、来年も元気で参加しなくてはと、この言葉がすべてを語っているようです。

(日光公民館)

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

編集後記

今、日本国憲法第二十五条(すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。)が危ない。

二一ト、非正規雇用、過疎化、福祉等、格差の拡大が何故起きているのか。

市場万能主義偏重の功罪を腰を据えて考える時がきたのではないか。

田舎の老夫婦は孫に財産を継いでもらう生きがいを奪われ、田畑・墓を守る気力さえなくなり、一生を終えていく。なんとかとしなくては・・・。

(大森)

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 野坂明典

副委員長 大森英一

委員 小村公洋

影山辰雄

細田 栄

遠藤 俊寛



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。